

経営比較分析表（令和6年度決算）

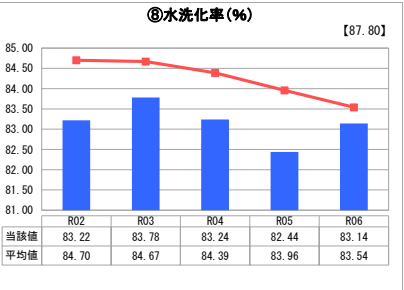
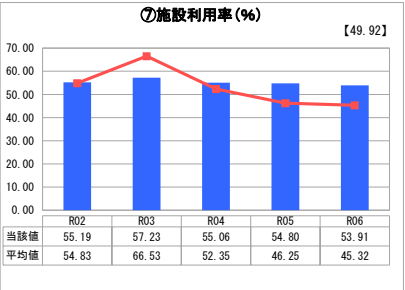
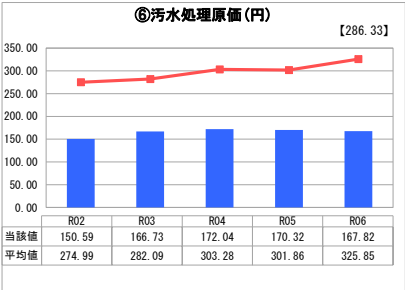
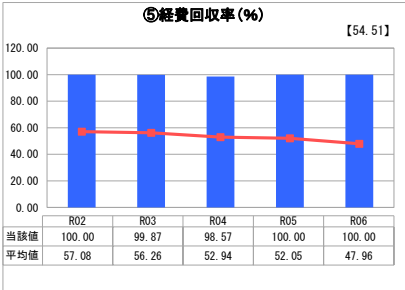
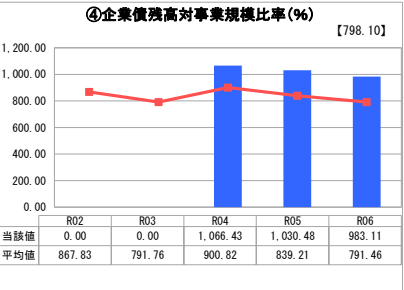
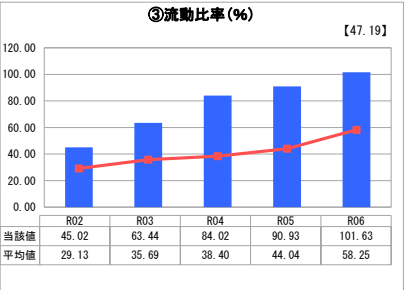
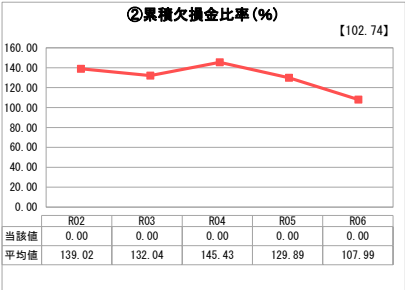
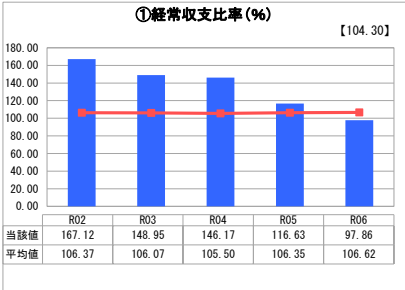
栃木県 矢板市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	80.71	2.84	61.42	3,300

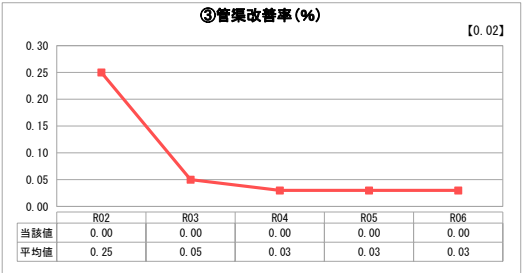
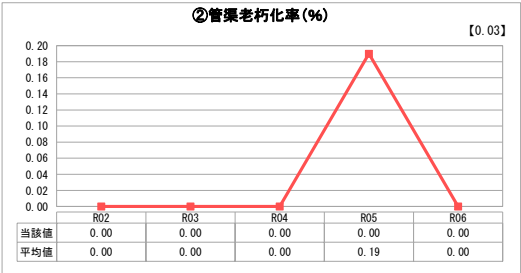
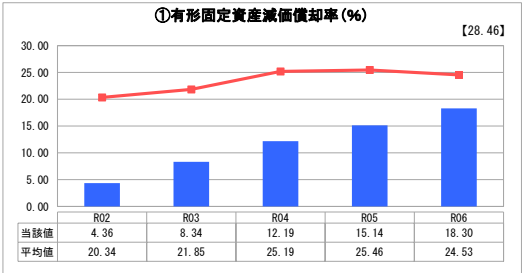
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,117	170.46	176.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
848	0.68	1,247.06

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を下回り、類似団体平均より低い状況であり、使用料収入や一般会計からの繰入金では維持管理費用等が賄えていない状況です。今後、経費削減、財源確保に努め、経営の健全化を図る必要があります。

②累積欠損金は発生していません。

③流動比率は前年度より増加し100%を超え、類似団体平均を上回っています。

④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均を上回っていますが、企業債の償還が進み前年度より若干減少しています。

⑤経費回収率は100%となっており、今後も使用料収入の確保に努めます。

⑥汚水処理原価は、前年度より若干減少し、全国平均や類似団体平均よりも大幅に低くなっています。今後も低い水準を維持できるよう適宜経営改善を行っていく必要があります。

⑦類似団体平均を上回っているが、施設の老朽化や処理水量の動向等を念頭に置き、適切な施設維持に努めていく必要があります。

⑧水洗化率はほぼ横ばいであるため、今後も水洗化を促進するにあたり工夫が必要と考えます。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を経過する管渠はしばらくありませんが、今後改修等の負担が一定期間に集中しないよう、計画的に更新等を進めていく必要があります。

全体総括

人口減少に伴うサービス需要の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大、物価高騰等による費用の増加などにより、今後厳しい経営状況が予想されます。

適正な施設管理と健全な経営のために、経営の効率化と料金改定を含む収入の適正化を図る必要があります。

持続可能な事業経営に向け、経営戦略に基づき、引き続き効率的な投資と財政基盤の強化に取り組んでいきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。